

安全への取り組み

主な乗務員教育関係

- ・ 初任運転者教育 6時間以上座学教育
20時間以上実技教習
- ・ 貸切初任運転者教育 10時間以上座学教育
20時間以上実技教習
- ・ 車両区分変更教育 座学、実技（一般路線バスから高速バスへの変更等）
- ・ 事故惹起者教育 本社教育（事故発生ドラレコ視聴・座学・実技）
- ・ 全運転者対象 年1回グループ教育（座学・実技・ディスカッション）
- ・ 高齢者運転者教育 随時開催
- ・ 初任適齢診断 ナスバにて受講
- ・ 一般適性診断 全運転者に対して3年に1回本社及び営業所で実施（2拠点設置）
- ・ 適齢診断 ナスバにて受講

実技指導員による添乗指導

- ・ 木更津営業所 2名在籍
- ・ 君津営業所 2名在籍
- ・ 富津営業所 1名在籍
- ・ 館山営業所 2名在籍
- ・ 鴨川営業所 2名在籍

- ・ 新任運転者及び職種変更運転者の指導と判定
 - ・ 添乗及び同乗の方法で指導を行った後、単独乗務の見極め
 - ・ 事故惹起者への添乗及び同乗の方法で指導
- 上記の指導で運転者の事故防止及び運転技術向上を図る



車両の安全対策

・ デジタコ・ドライブレコーダー 一体型

安全日報や事故時等の映像を記録する装置



・ バックソナー設置

後退事故防止装置、音と光で障害物を知らせます。



・ ヘッドライトLED化※一般乗合バス（ロービーム）

夜間走行の視認性を強化しています。



・ 緊急時非常灯

緊急時に後方の車両のみに緊急事態を知らせる装置



車両の安全対策

・SOSボタン（エマージェンシー）

運転者が急病等により運行継続が困難な場合の緊急用停止装置



・モービルアイ（前方・左側面モニタリング検知器）

夜間など自転車、歩行者等を検知して運転者に注意を促す装置



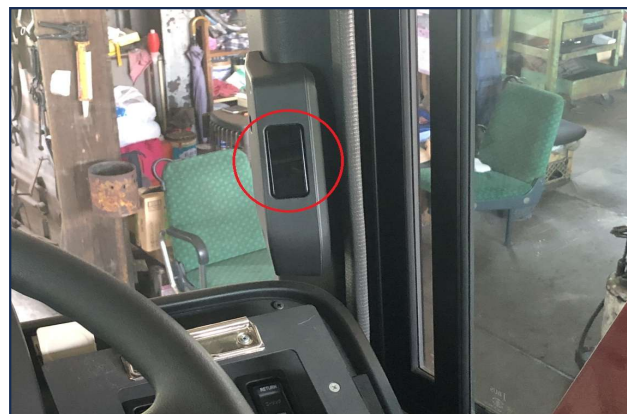
・居眠り、脇見検知システム（高速バス）

AIカメラで、運転者の顔の表情等を検知する装置



・居眠り、脇見検知システム（一般路線バス）

AIカメラで、運転者の顔の表情等を検知する装置



車両の安全対策

DSMドライバー異常自動検知システム



車両の安全対策

衝突被害軽減システム



(1) ミリ波レーダーが先行車との距離を常時認識

<イメージ>



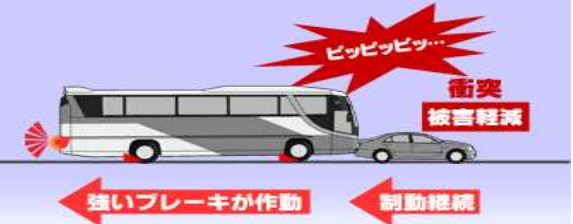
(2) 追突の可能性のある距離になると、警報音と弱いブレーキの作動によりドライバーに注意を喚起

警報ブザー&警報制動



(3) 危険回避が行なわれず追突が避けられないと判断すると、強いブレーキが作動し追突被害を軽減

本格制動

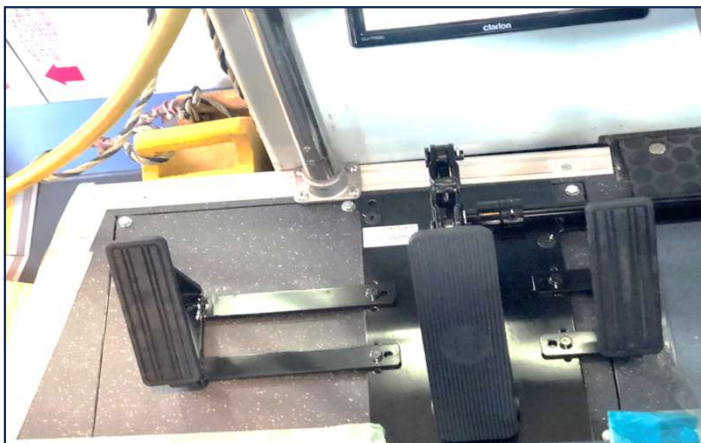


訓練車の紹介

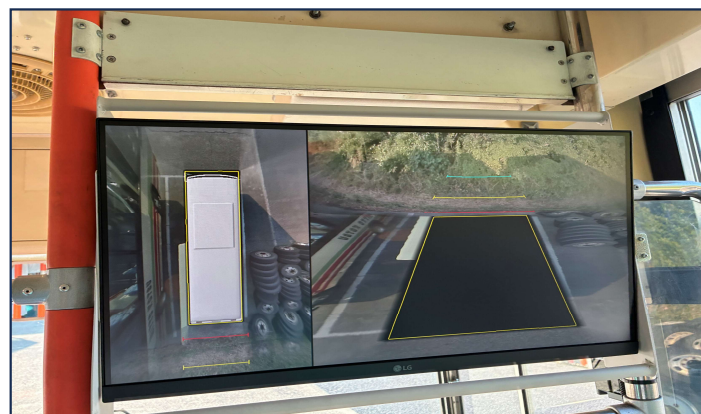


訓練車の紹介

- ・ 教官用補助ブレーキシステム



- ・ アラウンドビューモニター



- ・ 教官用左右監視モニター

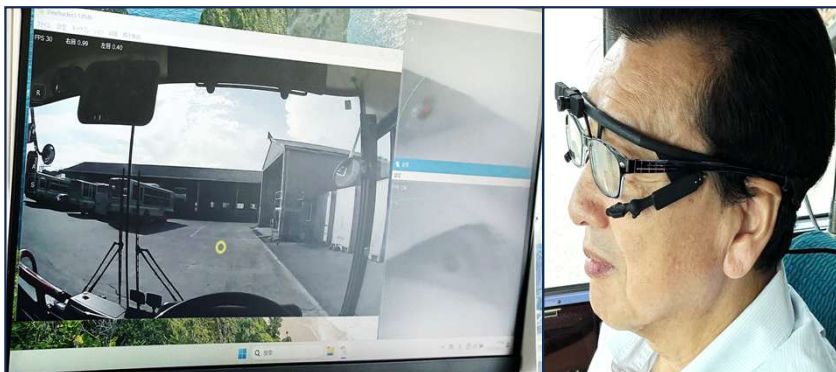


- ・ 車内事故防止訓練装置



訓練車の紹介

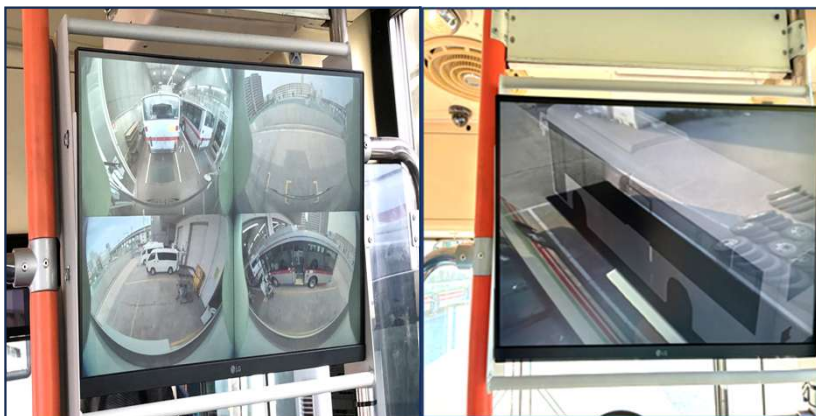
- ・ドライバー視線計測器(ビュートラッカー)



- ・教官用テーブル



- ・前後左右4カメラ アラウンド3Dモニター



- ・車内事故防止訓練用LED

